

NO. 315

# じゅんあい

平成25（2013）年6月1日

## 持っているものをあげよう



ペトロ像

「ペトロとヨハネが、午後三時の祈りの時に<sup>しんでん</sup>神殿に上<sup>のぼ</sup>って行った。すると、生まれながら足の不自由な男が運ばれて来た。神殿の境内<sup>けいだい</sup>に入る人に<sup>ほどこ</sup>施<sup>こ</sup>しを乞うため、毎日『美しい門』という神殿の門のそばに置い

でもらっていたのである。彼はペトロとヨハネが境内<sup>けいだい</sup>に入ろうとするのを見て、<sup>ほどこ</sup>施しを<sup>こ</sup>乞うた。ペトロはヨハネと一緒に彼をじっと見て、『わたしたちを見なさい』と言った。その男が、何かもらえると思って二人を見つめていると、ペトロは言った。『わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。』

そして、右手を取って彼を立ち上がらせた。すると、たちまち、その男は足やくるぶしがしっかりして、踊り上がって立ち、歩きだした。そして、歩き回ったり踊ったりして神を賛美<sup>さんび</sup>し、二人と一緒に境内<sup>けいだい</sup>に入って行った。民衆<sup>みんしゆう</sup>は皆、彼が歩き回り、神を賛美しているのを見た。彼らは、それが神殿の『美しい門』のそばに座って施しをこうていた者だと気づき、その身に起こったこと<sup>われ</sup>に我を忘れるほど驚いた。」

(新約聖書 使徒言行録 3章)

伝道<sup>でんどう</sup>の基本型<sup>けい</sup>——それは“持っているものをあげよう”の一字<sup>いちじ</sup>に尽きる。

一万円持っている人は一万円を人にあげる事が出来る。ダイヤを持っている人はそのダイヤを人にあげる事が出来、大樋焼<sup>おおひやき</sup>の抹茶茶碗<sup>まっちや</sup>を持っている人は、それを他者にあげる事が出来る。

“持っているものをあげよう”

持っていない人は人に何ものをもあげる事が出来ない。今までペトロは、人々を救<sup>すく</sup>うための聖霊<sup>せいれい</sup>の力を持っていなかった。しかし、「エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。ヨハネは水で洗礼<sup>せんれい</sup>（バプテスマ）を授<sup>さず</sup>けたが、あなたがたは間もなく聖霊<sup>せいれい</sup>による洗礼（バプテスマ）を授けられるからである。あなたがたの上に聖霊<sup>せいれい</sup>が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人<sup>しょうにん</sup>となる。」（使徒言行録 1章）と語られたイエスの御言葉<sup>み</sup>の実現を仲間達とひたすら祈り求めた。

「彼らは皆、婦人たちやイエスの母マリア、またイエスの兄弟たちと心を合わせて熱心に祈っていた。」  
(使徒言行録 1章)

その数は120人ほどであったと聖書は記す。  
そして、次の体験へと導かれていった。

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」 (使徒言行録 2章)

まさに約束のもの、上よりの聖霊であった。そして力を受け、その主よりの力をペテロは発動し、第3章の生まれながらの足の不自由な男の人の癒しへとつながってゆく……。



“持っているものをあげよう” これこそ、伝道の基本型であって、持たなければ何一つとして人々に上げる事は出来ない。  
ペトロに与えられたものは、約束の聖霊であり神の力がそこに満ちていた。

「さて、その男がペトロとヨハネに付きまといっていると、民衆は皆非常に驚いて、『ソロモンの回廊』と呼ばれる所にいる彼らの方へ、一斉に集まって来た。これを見たペトロは、民衆に言った。『イスラエルの人たち、なぜこのことに驚くのですか。また、わたしたちがまるで自分の力や信心によって、この人を歩かせたかのように、なぜ、わたしたちを見つめるのですか。』

アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神、わたしたちの先祖の神は、その僕 イエスに栄光をお与えになりました。ところが、あなたがたはこのイエスを引き渡し、ピラトが釈放しようとしていたのに、その面前でこの方を拒みました。聖なる正しい方を拒んで、人殺しの男を赦すように要求したのです。

あなたがたは、命への導き手である方を殺してしまいましたが、神はこの方を死者の中から復活させてくださいました。わたしたちは、このことの証人です。あなたがたの見て知っているこの人を、イエスの名が強くしました。それは、その名を信じる信仰によるものです。イエスによる信仰が、あなたがた一同の前でこの人を完全にいやしたのです。』

(使徒言行録 3章)

今までは失敗だらけで三度もイエスを否んだりした弱いシモン・ペトロであった。しかし、慈愛に満ちたイエスはそのようなペトロに上よりの力に満ちた聖霊を注ぎ、文字通り大使徒へと導いて行かれた。まさしくキリストの内には彼の必要としている一切があった。

「知恵と知識の宝はすべて、キリストの内に隠れています。

キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、あなたがたは、キリストにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です。」

(新約聖書 コロサイ書 2章)

しかも「神は、わたしたちが行った義の業によってではなく、御自分の憐れみによって、わたしたちを救ってくださいました。この救いは、聖霊によって新しく生まれさせ、新たに造りかえる洗いを通して実現したのです。神は、わたしたちの救い主イエス・キリストを通して、この聖霊をわたしたちに豊かに注いでくださいました。」

(新約聖書 テトス書 3章)

それ故<sup>ゆえ</sup>、ペトロは声をあげて神に感謝しつつ、生まれつきの足の不自由な男に命<sup>めい</sup>じるのであった。

「わたしには金や銀はないが、持っているものをあげよう。  
ナザレの人イエス・キリストの名によって立ち上がり、歩きなさい。」  
(使徒言行録 3章) と。

「そして、右手を取って彼を立ち上がらせた。すると、たちまち、その男は足やくるぶしがしっかりして、踊り上がって立ち、歩きだした。そして、歩き回ったり踊ったりして神を賛美し、二人と一緒に境内に入って行った。民衆は皆、彼が歩き回り、神を賛美しているのを見た。彼らは、それが神殿の『美しい門』のそばに座って施しをこうていた者だと気づき、その身に起こったことに我を忘れるほど驚いた。」

(使徒言行録 3章)

すべては主よりの恵み、一方的な憐<sup>あわ</sup>れみによる働<sup>はたら</sup>きであり、ただひたすらイエス・キリストを褒<sup>ほ</sup>めるのみであった。

「兄弟たち、あなたがたが召<sup>め</sup>されたときのことを、思い起<sup>お</sup>こしてみなさい。人間的に見て知恵のある者が多かったわけではなく、能力<sup>のうりよく</sup>のある者や、家柄<sup>いえがら</sup>のよい者が多かったわけでもありません。」

(新約聖書 第一コリント 1章)

ハレルヤ!

一切の栄光が神にあらんことを・・・。

**殉愛キリスト教会**

牧師：山縣 實

〒920-0814 石川県金沢市鳴和町タ 210 Tel・Fax 076-251-2247

E-mail : jun-i-yamagata@ishikawa.email.ne.jp

URL : <http://www.ne.jp/asahi/jun-ai/christ-church/>